

各 位

米子市総務部契約検査課

入 札 説 明 書

総合評価方式により工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

記

入札に付する工 事	工 事 名	米子駅北広場改良工事その4		
	工 事 場 所	米子市弥生町地内	工期	契約日から 令和8年1月30日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		都市整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和7年5月13日 午前10時20分 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金	有	40%以内		
部 分 払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 本件入札においては、入札者を米子市総合評価方式による競争入札試行要領に規定する方法で採点評価した評価値が最も高い者を落札予定者とし、応募書類等について審査した後に落札決定する。 7. 評価値が最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。 8. 失格基準価格を下回る額による入札を行った入札者は、失格とする。 9. 入札書に工事費内訳書及び配置技術者工事成績調書(これに添付する書類を含む。)が同封されていない場合は、失格とする。 10. 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望額の110分の100に相当する金額を入札書に記載する。 11. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 12. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別添のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥77,865,700		
調査基準価格		(直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10)×1.1		
失格基準価格		(直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10)×0.99×1.1		
総合評価方式で決定する調査基準価格は、1.1を乗ずる前の価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。失格基準価格はさらに0.99を乗じた価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。				

工 事 設 計 書

令和 7 年度	工事名	米子駅北広場改良工事その4				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和8年1月30日 まで					
工 事 場 所	米子市 弥生町 地内					
工 事 概 要	施工延長 L=22.7m					
	道路土工 一式					
	構造物撤去工 一式					
	舗装工 一式					
	道路付属施設工 一式					
	仮設工 一式					

米 子 市

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和7年2月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 本工事の施工時間は、<u>8：30～17：00、21：00～5：00</u>とする。一部夜間施工を見込んでいるが、関係機関との協議により施工時間の変更が必要になる場合は、監督員と協議すること。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 【港湾工事、漁港工事以外】（該当しない場合は削除） 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 【港湾工事、漁港工事】（該当しない場合は削除） 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。

特記事項 2

安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>16</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計〇名（交代要員[有・無]、交通誘導員Bを合計 <u>昼24、夜40</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水濁水処理	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地） ④（土質改良プラント） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥（他工事等流用）	建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。 建設発生土は <u> </u> 伯耆 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 小町 <u> </u> 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u>11.0</u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u>1,740</u> 円をセンターに支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として1 m³当り <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³当り <u>7,700</u> 円 アスファルト塊 1 m²当り <u>184.3</u> 円 建設発生木材 1 m³当り <u> </u> 円 [Co 雑割材・ <u> </u>] は、 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内 <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。

現場説明書

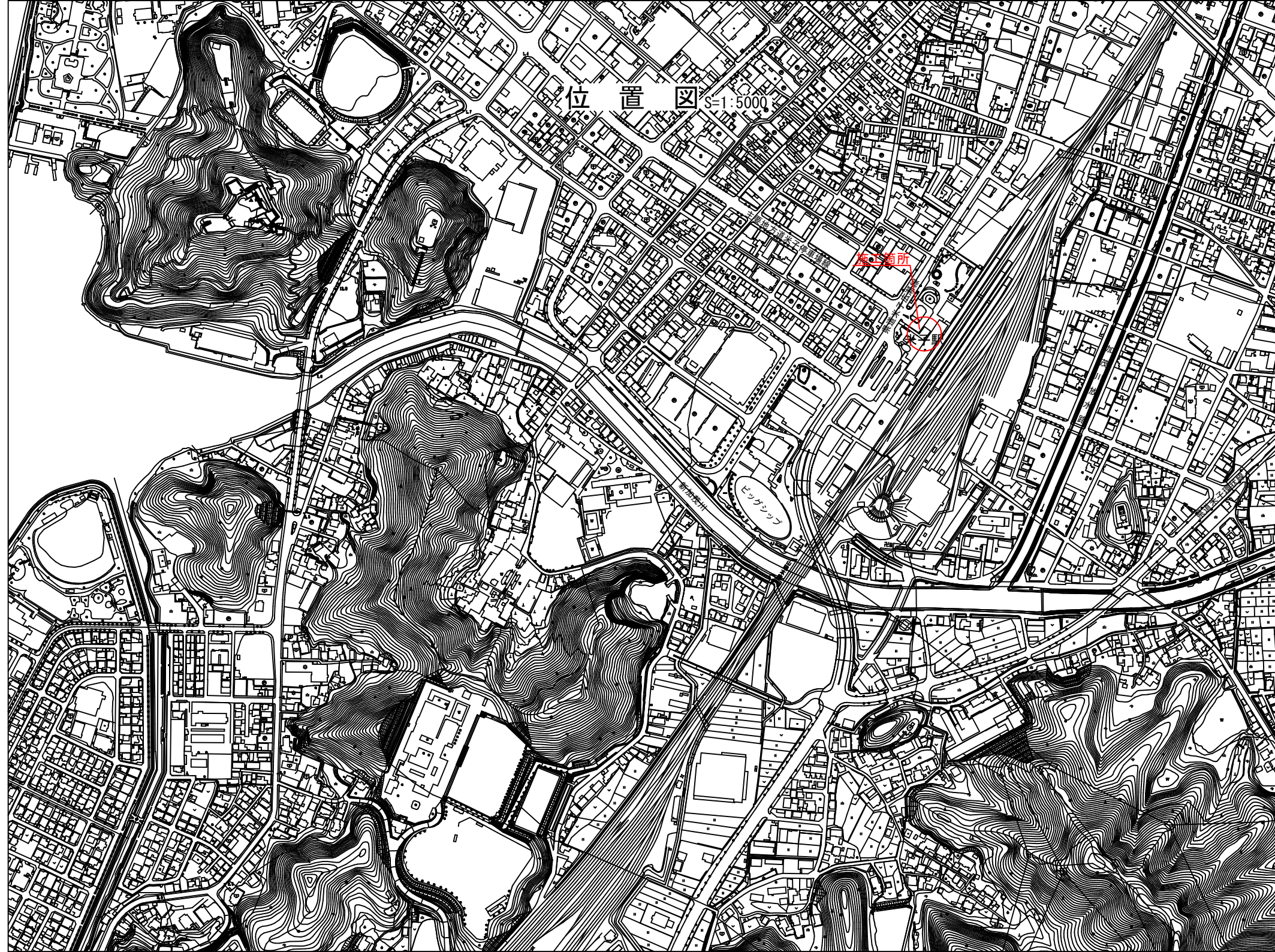
特記事項3

建設副産物の処理	⑦（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑧（木材市場等へ売却） ⑨（最終処理等） ⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 <u>米子 市・町・村 夜見町 地内の（有）大成商事</u> （運搬距離 <u>7.2</u> km）、費用1t 当り <u>1,200</u> 円 アスファルト塊 <u>米子 市・町・村 和田町 地内の カネックス(株)</u> （運搬距離 <u>10.8</u> km）、費用1t 当り <u>1,300</u> 円 建設発生木材 <u>米子 市・町・村 淀江町小波 地内の（株）丸福</u> （運搬距離 <u>11.5</u> km）、費用1m3 当り <u>6,000</u> 円 その他（ガレキ類） <u>米子 市・町・村 夜見町 地内の（有）大成商事</u> （運搬距離 <u>7.2</u> km）、費用1t 当り <u>20,000</u> 円 その他（廃プラ） <u>米子 市・町・村 和田町 地内の（株）山陰クリエート</u> （運搬距離 <u>10.6</u> km）、費用1m3 当り <u>7,000</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm 以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村 _____地内の _____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。
建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） ②（再生資材の使用）	_____工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。 1) C 〇雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：RC-30、RC-40〕は、使用箇所：_____路盤材、基礎材_____に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：RS-_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度アスコン〕は、使用箇所：_____表層_____に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。

現場説明書

特記事項 4

工事用道路	①（農地の一時転用について） ②（農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ア 用途の用途に使用するため、市・町・村番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。											
	①（労災補償に必要な保険の付保） ②（現場環境改善）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・七〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table><tr><th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr><tr><td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減</td></tr><tr><td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr><tr><td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td></tr><tr><td>地域連携</td><td>1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td></tr><tr><td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td><td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td></tr></table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）
計上費目	実施内容												
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減												
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等												
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策												
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献												
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）												
その他	③（交通規制及び着手時期等）	交通規制については、十分な周知を必要とするため、規制方法及び着手時期について関係各所及び監督員と綿密に調整等を行うものとする。											



位置図 S=1:5000

所在地

設計数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					(前回)	(今回)	
道路土工				式		1	
	掘削工			式		1	
		掘削	土砂	m ³		40	
	残土処理工			式		1	
		残土処理	土砂	m ³		50	
構造物撤去工				式		1	
	構造物取壊し工			式		1	
		コンクリート 構造物取壊し	無筋	m ³		6	
		舗装版切断	アスファルト, t=15cm以下	m		12	
		〃	コンクリート, t=6cm	m		2	
		舗装版破碎	アスファルト, t=15cm以下	m ²		208	
	道路付属施設撤去工			式		1	
		EV棟シェルター		式		1	
		照明灯撤去	H=5.8m	基		1	
		植栽撤去(低木)	マメツゲ H=0.6m	本		58	
		植栽撤去(高木)	サルスベリ H=7.0m, C=0.5, W=2.0	本		3	
	ブロック舗装撤去工			式		1	
		平板ブロック撤去	コンクリート, t=6cm	m ²		32	
	運搬処理工			式		1	
		殻運搬	コンクリート殻 無筋	m ³		6	
		〃	アスファルト殻	m ³		8	
		殻処分	スクラップ	t		8	
			コンクリート殻 無筋	t		13	
			アスファルト殻	t		18	
			ガレキ類	t		3	

設計数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					(前回)	(今回)	
			廃プラスチック	m ³		5	
		殻処分	木くず	m ³		10	
		現場発生品	スクラップ	t		8	
			ガレキ類	m ³		3	
			廃プラスチック	m ³		2	
			木くず	m ³		6	
舗装工				式		1	
	アスファルト舗装工			式		1	
		路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	m ²		25	仮舗装
		表層	再生密粒度As t=3cm	m ²		25	仮舗装
	ブロック舗装工			式		1	
		フィルター層	砂 t=5cm	m ²		202	歩道舗装
		路盤	クラッシャーラン C-30 t=10cm	m ²		202	〃
		インターロッキング ブロック舗装	透水、200×200×60	m ²		202	〃
		透水性視覚障がい 者 誘導ブロック	300×300×60 線状	m ²		9	
		〃	300×300×60 点状	m ²		2	
		視覚障がい者 誘導ブロック	溶融式 線状	m		1	
		〃	溶融式 点状	m		1	
		カラー着色		m ²		5	
道路付属施設工				式		1	
	作業土工			式		1	
	配管配線工			式		1	
		配管工	地中、FEP40	m		9	
		〃	地中、FEP80	m		68	
		埋設標識テープ	W150 2倍	m		77	

設計数量総括表

[illegible]

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()		
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(駅北広場改良工事)		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☐ 木材		
工作物に 関する調査 の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☒ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☒ その他(米子駅 タクシーロータリー) 敷地境界との最短距離 約 0 m その他()		
工作物に 関する調査 の結果及 び工事着 手前に実 施する措 置の 内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()	
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 30.0 m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☒ 無	
	他法令関係 (解体・維持・ 修繕工事の み)	石綿 (大気汚染防止 法・安全衛生法石 綿則)	☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☒ 無	
	その他			
工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設		仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	②土工		土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③基礎		基礎工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造		本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (構造物撤去工)		その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()		
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン		
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工作 物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定 建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部 分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	13 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	18 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
		☐ 建設発生木材	3 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
	(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考				

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 0 1 実施単価 30 米子市 00-07.04.10(0) 1 公共	当初	06-*****-60129-10		
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	04 道路改良 02 率計上する（市街地） 13 一般交通影響有り(2) 00 通常工事 0 % 01 金銭保証（0 . 0 4 %） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費	EV周辺						X1000
道路改良							Y1E01 (レ^\ Ⅱ1)
				一式			
道路土工							Y1E0101 (レ^\ Ⅱ2)
				一式			
掘削工							Y1E010101 (レ^\ Ⅲ3)
				一式			
掘削							Y1E01010101 (レ^\ Ⅳ4)
							A=時間外及び深夜作業
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準			m3			SPK24040001 00 A=1,B=5,E=7
		40		m3			単第0 -0001 表 070410
残土処理工							Y1E010110 (レ^\ Ⅲ3)
				一式			
土砂等運搬							Y1E01011002 (レ^\ Ⅳ4)
				m3			
	土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)						SPK24040002 00 A=2,B=5,C=1,D=2,F=44
		50		m3			単第0 -0002 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
残土等処分					Y1E01011003 (レ^\ Ⅱ4)
		m3			
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
建設残土処分料 地山 鳥取県建設技術センター小町事業所					TTV0061 00
	50	m 3			070410
構造物撤去工					Y1E0112 (レ^\ Ⅱ2)
		一式			
構造物取壊し工					Y1E011206 (レ^\ Ⅲ3)
		一式			
コンクリート構造物取壊し					Y1E01120601 (レ^\ Ⅳ4)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00 A=1,B=1,C=1,D=1
	6	m3			単第0 -0003 表 070410
舗装版切断					Y1E01120602 (レ^\ Ⅳ4)
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00 A=1,B=1,E=1
	12	m			単第0 -0004 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	2	m			SPK24040306 00 A=2, C=1, E=1 単第0 -0005 表 070410
舗装版破碎		m2			Y1E01120603 (レバール4)
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	208	m2			SPK24040305 00 A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 単第0 -0006 表 070410
道路付属施設撤去工		一式			Y1E011211 (レバール3)
シェルター撤去 夜間					Y4999 (レバール4) A=時間外及び深夜作業
シェルター撤去 EV棟シェルター 夜間	1	一式			V2003 00 単第0 -0007 表 070410
照明灯撤去		一式			Y4999 (レバール4)
照明灯撤去	1	基			VTKSHM 00 単第0 -0008 表 070410
植栽撤去		一式			Y4999 (レバール4)

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植栽撤去（低木） アメツゲ H=0.6m					VTKSY0L 00
	58	本			単第0 -0009 表 070410
植栽撤去（高木） サルスベリ H=7.0m、C=0.5、W=2.0					VTKSH0H 00
	3	本			単第0 -0011 表 070410
ブロック舗装撤去工					Y1E011212 (レ^\ル3)
		一式			
平石張撤去					Y4999 (レ^\ル4)
平石張撤去					V4002 00
	32	m ²			単第0 -0013 表 070410
運搬処理工					Y1E011216 (レ^\ル3)
		一式			
殻運搬					Y1E01121601 (レ^\ル4)
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	6	m3			SPK24040151 00 A=1,B=1,C=2,D=34,E=1 単第0 -0014 表 070410
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超)	8	m3			SPK24040151 00 A=3,B=4,C=2,D=45,E=1 単第0 -0015 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻処分					Y1E01121602 (レバ Ⅱ4)
		m3			
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1					TTU0052 00
	8	t			070410 8
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
コンクリート殻 無筋					TTV0444 00
	13	t			070410
アスファルト殻					TTV0440 00
	18	t			070410
ガレキ類					TTV0441 00
	3	t			070410
廃プラスチック					TTV0443 00
	5	m 3			070410
木くず					TTV0445 00
	10	m3			070410
現場発生品運搬					Y1E01121603 (レバ Ⅱ4)
		回			

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(7.0km超) 鉄くず	8	t							SPK24040410 00 A=1,B=2,C=9	単第0 -0016 表 070410
	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(7.0km超) ガレキ類	3	t							SPK24040410 00 A=1,B=2,C=9	単第0 -0016 表 070410
	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超) 廃プラ	2	t							SPK24040410 00 A=1,B=2,C=11	単第0 -0017 表 070410
	現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超) 木くず	6	t							SPK24040410 00 A=1,B=2,C=11	単第0 -0017 表 070410
舗装										Y1E02 (レ^\ Ⅱ1)	
舗装工					一式					Y1E0204 (レ^\ Ⅱ2)	
アスファルト舗装工					一式					Y1E020404 (レ^\ Ⅱ3)	
下層路盤(歩道部)										Y1E02040402 (レ^\ Ⅱ4)	
	下層路盤(歩道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 RC-30	25	m2							SPK24040233 00 A=100,B=3,D=1	単第0 -0018 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(歩道部)					Y1E02040410 (レバ Ⅲ4)
		m2			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 3 0 mm	25	m2			SPK24040244 00 A=1,B=30,C=7,E=2,G=1,H=1,I=1 単第0 -0019 表 070410
ブロック舗装工					Y1E020416 (レバ Ⅲ3)
		一式			
透水ブロック舗装					Y4999 (レバ Ⅲ4)
フィルター層 平均厚さ40mm以上60mm未満 再生砂	202	m2			SPK24040248 00 A=1,B=1 単第0 -0020 表 070410
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 RC-30	202	m2			SPK24040233 00 A=100,B=3,D=1 単第0 -0018 表 070410
透水ブロック舗装	202	m ²			V4001 00 単第0 -0021 表 070410
特殊ブロック舗装					Y1E02041606 (レバ Ⅲ4)
		m2			
特殊ブロック舗装 設置 ブロック規格 30cm×30cm(各種)	9	m2			SPK24040291 00 A=1,B=3,C=936 単第0 -0024 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊ブロック舗装 設置 ブロック規格 30cm×30cm(各種)					SPK24040291 00 A=1,B=3,C=936
	2	m2			単第0 -0024 表 070410
特殊ブロック舗装(溶融式) 線状					WTBYS
見積	1	m			
特殊ブロック舗装(溶融式) 点状					WTBYT
見積	1	m			
カラー着色					Y4999 (レ^\ル4)
		m2			
カラー着色 ストリートボンド					WKLSB
見積	5	m2			
道路付属施設工					Y1E0212 (レ^\ル2)
		一式			
作業土工					Y3999 (レ^\ル3)
		一式			
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害有り					SPK24040015 00 A=1,B=1,C=1,D=2,E=1
	70	m3			単第0 -0025 表 070410
埋戻し					SPK24040020 00 A=3,D=1
最大埋戻幅1m以上4m未満	60	m3			単第0 -0026 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
配管配線工									Y3999	(レ^\ Ⅲ3)
配管配線工 シェルター照明、ベンチ照明、広場電源									Y4999	(レ^\ Ⅲ4)
配管工 地中、FEP40									V3000	00
	9		m						単第0 -0027	表 070410
配管工 地中、FEP80									V3001	00
	68		m						単第0 -0028	表 070410
埋設標識シート敷設									V4010	00
	77		m						単第0 -0029	表 070410
配線工 地中									V4000	00
	9		m						単第0 -0030	表 070410
配線工 屋根									V4100	00
	23		m						単第0 -0031	表 070410
ハンドホール設置									Y4999	(レ^\ Ⅲ4)
				一式						
ハンドホール設置									VHH600	00
	2		基						単第0 -0032	表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
シェルター施設工						Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
製品費						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
EV棟シェルター鉄骨工事製作費						V3017 00
	1		一式			単第0 -0034 表 070410
EV棟シェルター屋根工事製品費						V3018 00
	1		一式			単第0 -0035 表 070410
施工費						Y4999 (レ^\ Ⅱ4) A=時間外及び深夜作業
夜間						
EV棟シェルター施工費						V3019 00
	1		一式			単第0 -0036 表 070410
EV棟シェルター基礎工事						VEVKS 00
	1		一式			単第0 -0040 表 070410
仮設工						Y1E0215 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
土留・仮締切工						Y1E021504 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
簡易土留工						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
			一式			
簡易土留め						VKD01 00
	1		一式			単第0 -0053 表 070410
交通管理工						Y1E021521 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
交通誘導警備員						Y1E02152101 (レ^\ Ⅱ4)
			人			
交通誘導警備員 B						R0369 00
	24		人			070410 1
交通誘導警備員						Y1E02152101 (レ^\ Ⅱ4) A=時間外及び深夜作業
			人			
交通誘導警備員 B						R0369 00
	40		人			070410 1
移設工						Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
支障物件等移設						VISETU 00
	1		一式			単第0 -0057 表 070410

本工事費 内訳書

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
* * 直接工事費 * *						
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						
一般管理費率分						
契約保証費						

本工事費 内訳書

頁0-0014

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費計							
* * 工事価格 * *							
* * 消費税相 当額 * *							
* * 工事費計 * *							

施 工 単 価 表

SPK24040001

単第0 -0001 表

掘削
土砂 上記以外(小規模)

機械構成比： 27.26% 労務構成比： 標準 61.70% 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
特殊運転手	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0-0016

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0002 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44 距離12.0km以下(9.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

SDT00031

単第0 -0003 表

構造物とりこわし工(無筋構造物)
機械施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001561
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

頁0-0018

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0004 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比： 15.42%

労務構成比：

57.13%

材料構成比： 27.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

単第0 -0004 表

舗装版切断

SPK24040306

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比： 15.42%

労務構成比： 57.13%

材料構成比： 27.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

頁0-0020

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0005 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比： 13.36%

労務構成比：

49.56%

材料構成比： 37.08%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	9.09%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断
コンクリート舗装版

SPK24040306
コンクリート舗装版厚15cm以下

単第0 -0005 表

1 m 当り

機械構成比： 13.36% 労務構成比： 49.56% 材料構成比： 37.08% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=2 E=1 コンクリート舗装版 -(全ての費用)			C=1 コンクリート舗装版厚15cm以下		

施工単価表

頁0-0022

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比：

13.49%

労務構成比：

障害等無し 舗装版厚15cm以下

80.49%

材料構成比：

6.02%

市場単価構成比：

0.00%

単第0 -0006 表

標準単価：

1

m2

当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

米子市

夜間

*** 単位当たり ***

06-*****-60129-10

照明灯撤去

VTKSHM

施 工 単 価 表

単第0 -0008 表

頁0-0024

10 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	2.5	人			R0090
普通作業員	2.0	人			RTPC00002
<賃>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊 オペレータ付	0.85	日			KTPC00024
*** 合計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

植栽撤去（低木）
アメツゲ H=0.6m

VTKSY0L

施工単価表

単第0 -0009 表

頁0-0025

10 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
造園工	0.29	人			RTPC00012
普通作業員	0.16	人			RTPC00002
2tトラック運転	0.05	台			V2TTR 単第0-0010 表
*** 合計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

2tトラック運転

V2TTR

1 台 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般運転手	1.0	人			RTPC00007
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	25.0	L			TTPC00013
トラック 普通型 2t積	6.0	時間			M0367
諸雑費	1	式			#10
*** 単位当たり ***	1	台			

施 工 単 価 表

頁0-0027

植栽撤去（高木）
サルスベリ

VTKSHOH
H=7.0m、C=0.5、W=2.0

単第0 -0011 表

10 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
造園工	0.70	人			RTPC00012
普通作業員	1.35	人			RTPC00002
チェーンソー運転	0.37	日			VCHENS 単第0-0012 表
2tトラック運転	1.30	台			V2TTR 単第0-0010 表
*** 合計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

チェーンソー運転

VCHENS

施工単価表

単第0 -0012 表

頁0-0028

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1.0	人			RTPC00001 3
ガソリン レギュラー スタンド	2.7	L			TTPC00014 3
チェーンソー ガソリンエンジン 鋸長600mmエンジン排気量0.080L=80cc	1.0	日			M1200237 3
諸雑費	3	%			#03
*** 単位当たり ***	1	日			

平石張撤去

V4002

施 工 単 価 表

単第0 -0013 表

頁0-0029

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平石張撤去	1	m2			WHIBT 舗装, 方形石設置の1/2
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施工単価表

頁0-0030

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0014 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69%

労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

頁0-0031

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比： 18.57% 労務構成比： 72.35%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離11.0km以下(8.0km超)

材料構成比： 9.08%

単第0 -0015 表

1

m3 当り

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=45 運搬距離11.0km以下(8.0km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0016 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離9.0km以下(7.0km超)

鉄くず

1

t 当り

機械構成比： 13.58% 労務構成比：

83.54%

材料構成比： 2.88%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=9 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(7.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0017 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)

廃プラ

1

t 当り

機械構成比： 13.58%

労務構成比：

83.54%

材料構成比：

2.88%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=11 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工

SPK24040233

単第0 -0018 表

RC-30
機械構成比： 5.62% 労務構成比： 72.88% 材料構成比： 21.50% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08m3)	2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗式コンバインド型) 質量3～4t	2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	26.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン R C - 3 0	19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

SPK24040233

単第0 -0018 表

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工
機械構成比： 5.62%

RC-30

労務構成比： 72.88%

材料構成比： 21.50%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		

施工単価表

頁0-0036

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚 3 0 mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46%

労務構成比:

50.12%

材料構成比:

49.42%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	17.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生密粒度アスコン (13)	43.36%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	5.90%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0019 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚 3 0 mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46%

労務構成比:

50.12%

材料構成比:

49.42%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ガソリン レギュラー スタンド	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施 工 単 価 表

SPK24040248

単第0 -0020 表

フィルター層

平均厚さ40mm以上60mm未満

機械構成比： 4.83% 労務構成比： 82.97% 再生砂 材料構成比： 12.20% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2m3)	2.98%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗式コンバインド型) 質量3～4t	1.71%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	23.58%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	23.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砂	9.84%		再生砂		TTPC00011 TTPT00011

施 工 単 価 表

SPK24040248

単第0 -0020 表

フィルター層

平均厚さ40mm以上60mm未満

再生砂

1

m2

当り

機械構成比： 4.83%

労務構成比：

82.97%

材料構成比：

12.20%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.30%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 平均厚さ40mm以上60mm未満			B=1 再生砂		

透水ブロック舗装

V4001

施工単価表

単第0 -0021 表

頁0-0040

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
インターロッキングブロック工(設置) 曲線配置3色以上による色合わせ ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2以上	100	m2			SS000115 単第0-0022 表
透水シート 60g/m2以上	100	m ²			F0000001003
見切り材設置	23	m			VMIKIZ 単第0-0023 表
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施工単価表

インターロッキングブロック工(設置)
曲線配置3色以上による色合わせ

SS000115
ブロック厚6cm 特殊品 [規]100m2以上

単第0 -0022 表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
インターロッキングブロック工 設置 T = 6 c m 曲線 3 色以上色合せ	1.000	m ²			TS646
インターロッキングブロック【控除用】 ブロック厚 6 c m 標準品	-1.020	m ²			TS654K
透水ブロック 200 × 200 × 60	1.020	m2			F0000009300 見積
砂 荒目 (洗い)	0.039	m3			T1030319 建設物価P133
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4 曲線配置3色以上による色合わせ C=2 特殊品 E=1 砂			B=1 ブロック厚6cm D=9300 【F】特殊品材料単価(m2) H=0.03 敷材料の厚さ(m)		
I=1 [規]100m2以上 K=1 -			J=1 - L=1 -		

施工単価表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.02	人			RTPC00002
ロッキングエッジ H85×L2000 5本/セット 付属品 アンカー15本 接続アダプタ5個	1	m			TROKIE
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0-0043

特殊ブロック舗装
設置

SPK24040291

単第0 -0024 表

ブロック規格 30cm×30cm(各種)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 23.52% 材料構成比: 76.48% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	7.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ブロック工	6.27%		ブロック工		RTPC00005 RTPT00005
土木一般世話役	3.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	1.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
透水誘導ブロック	76.48%		特殊ブロック 洗出平板 30cm×30cm×6cm		F0000000936 TTPT00388
見積り 積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=936 設置 【F】ブロック(枚)			B=3 ブロック規格 30cm×30cm(各種)		

施工単価表

頁0-0044

床掘り

土砂 標準

機械構成比：

23.14%

労務構成比：

SPK24040015
土留方式無し 障害有り

53.20%

材料構成比：

23.66%

市場単価構成比：

0.00%

単第0 -0025 表

標準単価：

1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	23.14%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	53.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

埋戻し

SPK24040020

施工単価表

単第0 -0026 表

頁0-0045

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.76% 労務構成比: 81.50% 材料構成比: 8.74% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1~3,2011,2014	8.18%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.48%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	15.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

埋戻し

SPK24040020
最大埋戻幅1m以上4m未満

単第0 -0026 表

1
m3 当り

機械構成比： 9.76% 労務構成比： 81.50% 材料構成比： 8.74% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

施 工 単 価 表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
A=3 最大埋戻幅1m以上4m未満			D=1 -(全ての費用)		

配管工
地中、FEP40

V3000

施工単価表

単第0 -0027 表

頁0-0047

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	2.6	人			R0090
FEP40	100	m			TFEP40
砂 荒目（洗い）	4.8	m3			建設物価P574 T1030319
*** 合計 ***	100	m			建設物価P133
*** 単位当たり ***	1	m			

配管工
地中、FEP80

V3001

施 工 単 価 表

単第0 -0028 表

頁0-0048

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	4.0	人			R0090
FEP80	100	m			TFEP80
砂 荒目（洗い）	4.8	m3			建設物価P574 T1030319
*** 合計 ***	100	m			建設物価P133
*** 単位当たり ***	1	m			

埋設標識シート敷設

V4010

施工単価表

単第0 -0029 表

頁0-0049

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	0.4	人			R0090
埋設標示シート W150 2倍	100	m			TMSW150 建設物価P629
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

配線工
地中

V4000

施工単価表

単第0 -0030 表

頁0-0050

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	1.2	人			R0090
EM-CE5.5mm2 - 3C	100	m			TEMCE55 建設物価P550
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

配線工
屋根

V4100

施 工 単 価 表

単第0 -0031 表

頁0-0051

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電工	1.2	人			R0090
EM-CE5.5mm2 - 3C	100	m			TEMCE55 建設物価P550
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

ハンドホール設置

VHH600

単第0 -0032 表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストマンホール 据付 基礎碎石有り(円形断面) 製品質量2000kg/基以下	1	基			SPK24040099 単第0-0033 表
ハンドホール	1	基			THH600 見積
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 単 価 表

頁0-0053

プレキャストマンホール
据付 基礎砕石有り(円形断面)

SPK24040099

製品質量2000kg/基以下

単第0 -0033 表

1

基 当り

機械構成比： 2.62% 労務構成比： 13.56% 材料構成比： 83.82% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	2.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	3.66%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	0.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ハンドホール H1-6 材料別途	82.72%		プレキャストマンホール 製品質量2,000kg/基以下		F0000000100 TTPT00138
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0-0054

プレキャストマンホール
据付 基礎碎石有り(円形断面)

SPK24040099

製品質量2000kg/基以下

単第0 -0033 表

1

基 当り

機械構成比： 2.62% 労務構成比： 13.56% 材料構成比： 83.82% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=100 【F】マンホール(式) E=1 -(全ての費用)			B=1 製品質量2000kg/基以下 D=1 基礎碎石有り(円形断面)		

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
丸形鋼管 φ 216.3×8.2 STK400	614.8	k g			T70017 建設物価P46
丸形鋼管 φ 267.4×9.3 STK400	422.5	k g			T70018 建設物価P46
H形鋼 H-194×150×6×9 SS400	1,441.9	k g			T70002 県単P3
H形鋼 H-200×100×5.5×8 SS400	201.7	k g			T70003 県単P3
切板鋼板 PL-19 SS400	77.0	k g			T70004 建設物価P44
切板鋼板 PL-16 SN490C	104.3	k g			T70005 建設物価P44
切板鋼板 PL-9 SS400	158.2	k g			T70006 建設物価P44
切板鋼板 PL-6 SS400	49.3	k g			T70007 建設物価P44
切板鋼板 PL-4.5 SS400	0.6	k g			T70008 建設物価P44
副資材消耗品費	3,070.2	k g			T70009 見積
工場加工費	3,070.2	k g			T70010 見積
錆止塗装 ジンクリッチプライマー 錆止めペイントA種	79.9	m ²			T70011 見積

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕上塗装 耐候性塗装塗 (DP) フッ素樹脂塗装	77.7	m ²			T70012 見積
ボルト・ナット HTB(S10T) M16 × 40^55	176	組			T70014 見積
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根 接着アルミハニカムパネルt=54 支持金物・ボルト含む	73.8	m ²			T80001 見積
照明器具 LEDダウンライト昼白色 パネル加工費含む	4	基			T80050 見積
幕板 アルミ押出形材 5×65 下地材含む	25.0	m			T80002 見積
軒樋 アルミ押出形材 100×55 落し口 下地材含む	10.9	m			T80004 見積
柱貫通部塞ぎカバー アルミ板曲げ t=2.0 216.3×230.9 (屋根) 216.3×258.8 (天井)	2.0	箇所			T80029 見積
堅樋 アルミ製 φ60×t2.0 支持金物含む	7.2	m			T80007 見積
*** 単位当たり ***	1	一式			

施工単価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨建方 施工費 見積	3,070.2	k g			F70001 見積
アンカーボルト設置 足場有り	20	本			S3070095 単第0-0037 表
屋根 接着アルミハニカムパネルt=54 支持金物・ボルト含む	73.8	m ²			T80008 見積
幕板 アルミ押出形材 5×65 下地材含む	25.0	m			T80009 見積
軒樋 アルミ押出形材 100×55 落し口 下地材含む	10.9	m			T80011 見積
柱貫通部塞ぎカバー アルミ板曲げ t=2.0 216.3×228.4 (屋根) 216.3×256.9 (天井)	2.0	箇所			T80026 見積
堅樋 アルミ製 φ60×t2.0	7.2	m			T80014 見積
目地 ガasket HSR (高耐引裂性シリコンゴム) 二次排水ゴム	57.5	m			T80020 見積
目地 MS-2 15×10 材工共	35.9	m			T80015 見積
防水キャップ M12用キャップ SR-1接着	96.0	個			T80016 材工共 見積
柱廻り MS-2 材工共	4.0	カ所			T80017 見積
支持金物CT シーリング MS-2 14×10	17.0	カ所			T80018 材工共 見積

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
支持金物L シーリング MS-2 14×10	14.0	カ所			T80019
13tラフター運転	5	日			材工共 見積 V13TLAF 単第0-0038 表
高所作業車運転 9.9m	5	日			VKS99M 単第0-0039 表 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

アンカーボルト設置
足場有り

S3070095

施工単価表

単第0 -0037 表

頁0-0060

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.200	人			RTPC00009 9
特殊作業員	1.300	人			RTPC00001 9
普通作業員	0.700	人			RTPC00002 9
アンカーボルト	100.000	本			F0000000001
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 足場有り			B=1 【F】アンカーボルト(本)		

13tラフター運転

V13TLAF

施 工 単 価 表

単第0 -0038 表

頁0-0061

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13tラフター 8h	1	日			W13TLAF
労務費	1	名			見積 W13TROM
*** 単位当たり ***	1	日			見積

施 工 単 価 表

単第0 -0039 表

VKS99M

高所作業車運転
9.9m

見積り

1

日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高所作業車 9.9m	1	日			WKS99M 見積
*** 単位当たり ***	1	日			

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シェルター基礎 C1-1	1	基			VEVC11 単第0-0041 表
シェルター基礎 C1-2	1	基			VEVC12 単第0-0049 表
シェルター基礎 C1-3	1	基			VEVC13 単第0-0050 表
シェルター基礎 C2-1	1	基			VEVC21 単第0-0051 表
シェルター基礎 C2-2	1	基			VEVC22 単第0-0052 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

シェルター基礎
C1-1

VEVC11

施 工 単 価 表

単第0 -0041 表

頁0-0064

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			SPK24040153 単第0-0042 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.6	m2			SPK24040155 単第0-0043 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.0	m2			SPK24040034 単第0-0044 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.0	m3			SPK24040153 単第0-0045 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4.2	m2			SPK24040155 単第0-0046 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.064	t			S3276 単第0-0047 表
鉄筋工 SD345径16～25mm	0.023	t			S3276 単第0-0048 表
機械式鉄筋定着工法 D13 0<L 1m	4	箇所			F11111 建設物価P22
無収縮モルタル Uグラウト一般用	0.01	m 3			T2021 建設物価P121
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 単 価 表

基礎コンクリート

SPK24040153

単第0 -0042 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比： 3.79% 労務構成比： 35.68% 材料構成比： 60.53% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

SPK24040153

単第0 -0042 表

基礎コンクリート

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比： 3.79% 労務構成比： 35.68% 材料構成比： 60.53% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0067

型枠

SPK24040155

単第0 -0043 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 100.00%

材料構成比： 0.00%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施 工 単 価 表

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0044 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比： 4.99% 労務構成比： 69.17%

材料構成比： 25.84%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	4.96%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	13.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン R C - 4 0	21.33%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	4.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

SPK24040034

単第0 -0044 表

基礎砕石
砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下
機械構成比： 4.99% 労務構成比： 69.17%

RC-40

材料構成比： 25.84%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=4 D=1 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

施工単価表

SPK24040153

単第0 -0045 表

1

m3 当り

コンクリート

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

人力打設

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 29.40%

材料構成比： 70.60%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C55%以下	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0-0071

型枠

SPK24040155

単第0 -0046 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

鉄筋工
SD345径13mm

S3276

施工単価表

単第0 -0047 表

頁0-0072

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009
鉄筋工	3.900	人			RTPC00018
とび工	0.100	人			RTPC00004
普通作業員	2.200	人			RTPC00002
異形棒鋼 S D 3 4 5 D 1 3	1.050	t			T0181
諸雑費	6	%			#09
* * * 単位当たり * * *	1	t			
A=3 SD345径13mm					

鉄筋工
SD345径16～25mm

S3276

施工単価表

単第0 -0048 表

頁0-0073

1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009
鉄筋工	3.900	人			RTPC00018
とび工	0.100	人			RTPC00004
普通作業員	2.200	人			RTPC00002
異形棒鋼 S D 3 4 5 D 1 6	1.050	t			T0182
諸雑費	6	%			#09
* * * 単位当たり * * *	1	t			
A=4 SD345径16～25mm					

施 工 単 価 表

シェルター基礎
C1-2

VEVC12

単第0 -0049 表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.5	m3			SPK24040153 単第0-0045 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4.9	m2			SPK24040155 単第0-0046 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.090	t			S3276 単第0-0047 表
鉄筋工 SD345径16～25mm	0.023	t			S3276 単第0-0048 表
機械式鉄筋定着工法 D13 0<L 1m	8	箇所			F11111 建設物価P22
無収縮モルタル Uグラウト一般用	0.01	m 3			T2021 建設物価P121
*** 単位当たり ***	1	基			

シェルター基礎
C1-3

VEVC13

施工単価表

単第0 -0050 表

頁0-0075

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			SPK24040153 単第0-0042 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.6	m2			SPK24040155 単第0-0043 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.0	m2			SPK24040034 単第0-0044 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.0	m3			SPK24040153 単第0-0045 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4.2	m2			SPK24040155 単第0-0046 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.067	t			S3276 単第0-0047 表
鉄筋工 SD345径16～25mm	0.023	t			S3276 単第0-0048 表
機械式鉄筋定着工法 D13 0<L 1m	6	箇所			F11111 建設物価P22
無収縮モルタル Uグラウト一般用	0.01	m 3			T2021 建設物価P121
* * * 単位当たり * * *	1	基			

施 工 単 価 表

シェルター基礎
C2-1

VEVC21

単第0 -0051 表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			SPK24040153 単第0-0042 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.6	m2			SPK24040155 単第0-0043 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.0	m2			SPK24040034 単第0-0044 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.1	m3			SPK24040153 単第0-0045 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4.7	m2			SPK24040155 単第0-0046 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.071	t			S3276 単第0-0047 表
鉄筋工 SD345径16～25mm	0.038	t			S3276 単第0-0048 表
機械式鉄筋定着工法 D13 0<L 1m	4	箇所			F11111 建設物価P22
無収縮モルタル Uグラウト一般用	0.01	m 3			T2021 建設物価P121
*** 単位当たり ***	1	基			

シェルター基礎
C2-2

VEVC22

施工単価表

単第0 -0052 表

頁0-0077

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.3	m3			SPK24040153 単第0-0042 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.7	m2			SPK24040155 単第0-0043 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	2.9	m2			SPK24040034 単第0-0044 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	1.6	m3			SPK24040153 単第0-0045 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	5.4	m2			SPK24040155 単第0-0046 表
鉄筋工 SD345径13mm	0.091	t			S3276 単第0-0047 表
鉄筋工 SD345径16～25mm	0.038	t			S3276 単第0-0048 表
機械式鉄筋定着工法 D13 0<L 1m	5	箇所			F11111 建設物価P22
無収縮モルタル Uグラウト一般用	0.01	m 3			T2021 建設物価P121
*** 単位当たり ***	1	基			

簡易土留め

VKD01

施 工 単 価 表

単第0 -0053 表

頁0-0078

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建込工(両側分)	6.6	m			SG1D0032001 単第0-0054 表
引抜工(両側分)	6.6	m			SG1D0032002 単第0-0056 表
たて込み簡易土留材質料 2.0型 30m当たり	160	m2・日			TTKDCHI 建設物価P819
たて込み簡易土留材整備費 2.0型 30m当たり	160	m2			TTKDS 建設物価P819
*** 単位当たり ***	1	一式			

建込工(両側分)

SG1D0032001

施 工 単 価 表

単第0 -0054 表

頁0-0079

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.20	人			RTPC00009
特殊作業員	0.20	人			RTPC00001
普通作業員	0.40	人			RTPC00002
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.1	時間			SM0102020 単第0-0055 表
諸雑費	1	一式			#92
1m当り(計/10m)					+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 掘削深 2.0m以下					

施 工 単 価 表

頁0-0080

機-01 バックハウ運転

SM0102020

単第0 -0055 表

113 標準型 排2

山積0.28m3(平積0.2m3)

1

時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	0.17	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	5.90	L			TTPC00013
バックハウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1.00	時間			MTPC00062
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	時間			
A=3 113 標準型 排2 C=0 運転労務数量(人/時間) E=0 機械損料数量			B=1 山積0.28m3(平積0.2m3) D=0 燃料消費量(L/時間)		
運転日当運転時間 $T = 700 \text{ (欄)} / 120 \text{ (欄)} = 5.8$ 運転労務歩掛 $1 / T = 1 / 5.8 = 0.17$ 燃料消費量 (時間当り) = $41.000 \text{ (kW)} \times 0.144 \text{ (燃料消費率)} = 5.900 \text{ (L / 時間)}$					

引抜工(両側分)

SG1D0032002

施 工 単 価 表

単第0 -0056 表

頁0-0081

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.12	人			RTPC00009
特殊作業員	0.12	人			RTPC00001
普通作業員	0.23	人			RTPC00002
<賃>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊 オペレータ付	0.12	日			KTPC00024
諸雑費	1	一式			#92
1m当り(計/10m)					+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 掘削深 2.0m以下					

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通信配線移設	1	一式			WIHTELE
*** 単位当たり ***	1	一式			

設計数量集計表

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					(設計)	(計上)	
道路土工				式			
	掘削工			式			
		掘削	土砂	m ³	42	40	
	残土処理工			式			
		残土処理	土砂	m ³	50	50	
構造物撤去工				式			
	構造物取壊し工			式			
		コンクリート 構造物取壊し	無筋	m ³	5.5	6	
		舗装版切断	アスファルト, t=15cm以下	m	11.5	12	
		〃	コンクリート, t=6cm	m	2.4	2	
		舗装版破碎	アスファルト, t=15cm以下	m ²	207.7	208	
	道路付属施設撤去工			式			
		シェルター撤去	地下駐階段	式	1	1	夜間
		照明灯撤去	H=5.8m	基	1	1	
		植栽撤去(低木)	マメツゲ H=0.6m	本	58.0	58	
		植栽撤去(高木)	サルスベリ H=7.0m, C=0.5, W=2.0	本	3	3	
	ブロック舗装撤去工			式			
		平板ブロック撤去	コンクリート, t=6cm	m ²	31.9	32	
	運搬処理工			式			
		殻運搬	コンクリート殻 無筋	m ³	5.5	6	
		〃	アスファルト殻	m ³	7.5	8	
		殻処分	スクラップ	t	8.0	8	
		〃	コンクリート殻 無筋	t	12.9	13	
		〃	アスファルト殻	t	17.7	18	
		〃	ガレキ類	t	2.8	3	

設計数量集計表

工種	種別	細別	規格	単位	数量		摘要
					(設計)	(計上)	
		〃	廃プラスチック	m ³	5.0	5	
		殻処分	木くず	m ³	10.0	10	
		現場発生品運搬	スクラップ	t	8.0	8	
		〃	ガレキ類	t	2.8	3	
		〃	廃プラスチック	t	1.8	2	
		〃	木くず	t	5.5	6	
舗装工				式			
	アスファルト舗装工						
		路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	m ²	25.2	25	仮舗装
		表層	再生密粒度As t=3cm	m ²	25.2	25	仮舗装
	ブロック舗装工			式			
		フィルター層	砂 t=5cm	m ²	201.8	202	歩道舗装
		路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	m ²	201.8	202	〃
		インターロッキング ブロック舗装	透水、200×200×60	m ²	201.8	202	〃
		透水性視覚障がい者 誘導ブロック	300×300×60 線状	m ²	9.4	9	
		〃	300×300×60 点状	m ²	2.3	2	
		視覚障がい者 誘導ブロック	溶融式 線状	m	1.0	1	
		〃	溶融式 点状	m	1.2	1	
		カラー着色		m ²	4.8	5	
道路付属施設工				式			
	作業土工			式			
		床掘り	土砂	m ³	68	70	
		埋戻し	最大埋戻幅1m未満	m ³	55	60	
	配管配線工			式			
		配管工	地中、FEP40	m	9.3	9	

設計数量集計表

[illegible]

土工数量集計表

[illegible]

残土処理計算書			建設発生土集計表				
種 別	細 別	土 砂					備 考
		立積 (m ³)	立積 (m ³)	立積 (m ³)	立積 (m ³)	立積 (m ³)	
道路土工	掘削	42.2					
付属施設工	床掘	68.5					
合計		m ³ 110.7					
建設利用土計算書							
種 別	細 別	土 砂					備 考
		立積 (m ³)	変化率	地山 (m ³)			
付属施設工	埋戻	54.7	1/0.9	60.8			
合計				m ³ 60.8			

処分土(地山換算)

当該計画における残土=

110.7

建設発生土

60.8

建設利用土

=

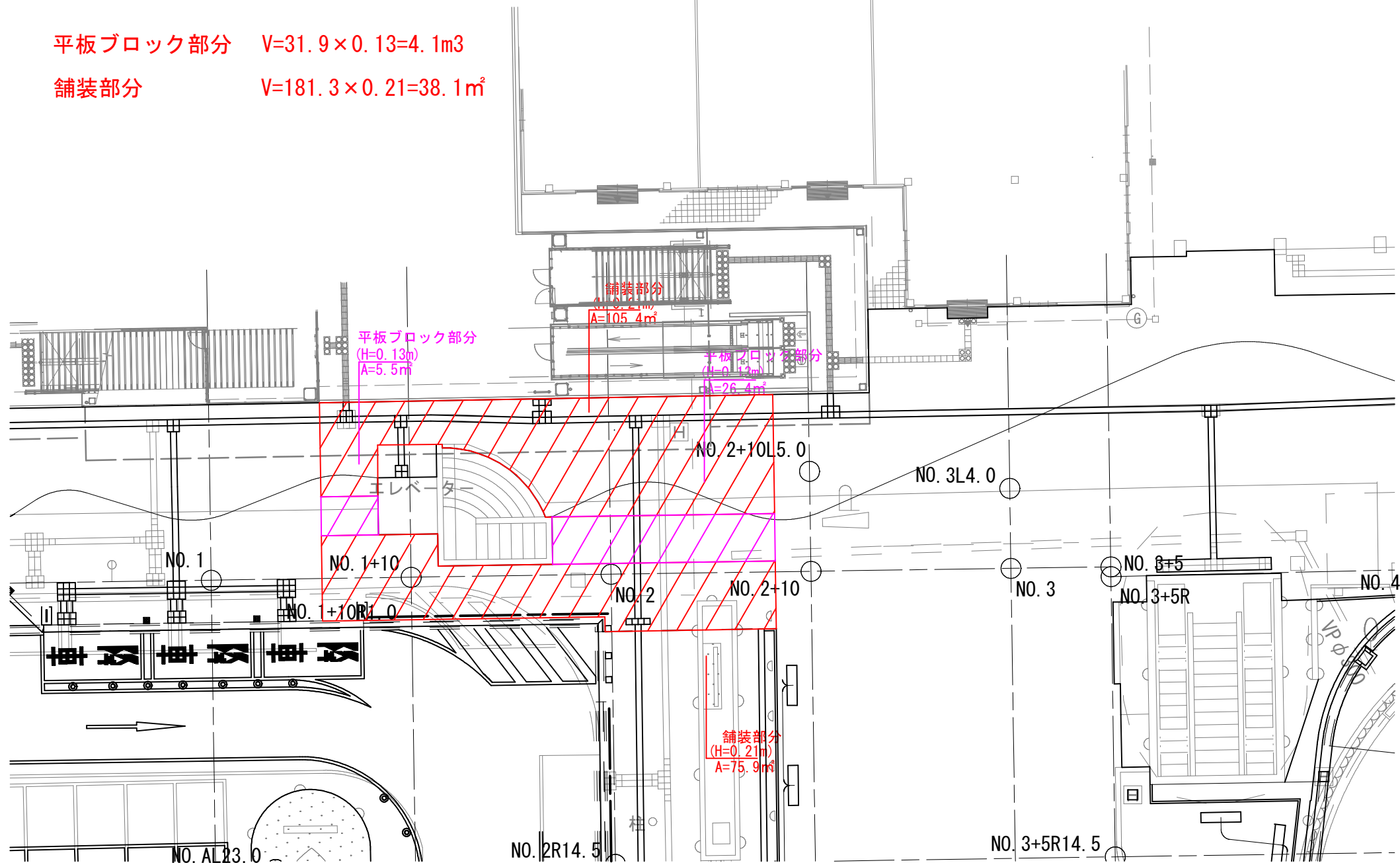
49.9 m³

残土

掘削工数量計算書

平板ブロック部分 $V=31.9 \times 0.13=4.1\text{m}^3$

鋪裝部分 $V=181.3 \times 0.21=38.1 \text{ m}^3$



構造物撤去工数量集計表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	摘 要
構造物取壊し工			式		
	コンクリート構造物 取壊し	無筋	m3	5.5	
	舗装版切断	アスファルト, t=15cm以下	m	11.5	
	〃	コンクリート, t=6cm	m	2.4	
	舗装版破碎	アスファルト, t=15cm以下	m2	207.7	
道路付属施設撤去工			式		
	シェルター撤去	地下駐階段	式	1.0	
	照明灯撤去	H=5.8m	基	1	
	植栽撤去(低木)	マメツゲ H=0.6m	本	58.0	
	植栽撤去(高木)	サルスベリ H=7.0m, C=0.5, W=2.0	本	3	
ブロック舗装撤去工			式		
	平板ブロック撤去	コンクリート, t=6cm	m2	31.9	
運搬処理工			式		
	殻運搬	コンクリート殻 無筋	m3	5.5	
	〃	アスファルト殻	m3	7.5	
	殻処分	スクラップ	t	8.0	
	〃	コンクリート殻 無筋	t	12.9	
	〃	アスファルト殻	t	17.7	
	〃	ガレキ類	t	2.8	
	〃	廃プラスチック	m ³	5.0	
	〃	木くず	m ³	10.0	
	現場発生品運搬	スクラップ	t	8.0	
	〃	ガレキ類	t	2.8	
	〃	廃プラスチック	t	1.8	
	〃	木くず	t	5.5	

運 搬 処 理 工 集 計 表

種 別	延長 (m) 面積 (m2) 又は箇所	単位	コンクリート無筋		舗装版 車道		舗装版 歩道		ガレキ類		鋼材		廃プラスチック				備 考
			厚さ (m)	立積 (m3)	厚さ (m)	立積 (m3)	厚さ (m)	立積 (m3)	厚さ (m)	立積 (m3)		重量 (t)		立積 (m3)			
コンクリート構造物取壊し		m ³		5.5													
平板ブロック	31.9	m ²							0.060	1.9							
舗装版取壊し	26.4	m ²			0.050	1.3											
舗装版取壊し	181.3	m ²					0.030	5.4									
舗装版取壊し	25.2	m ²					0.030	0.8									
既設シェルター												8.0		5.0			
				m ³		m ³		m ³		m ³							
全体合計				5.5		1.3		6.2		1.9							
重量			t/m3	t	t/m3	t	t/m3	t	t/m3	t							
			2.35	12.9	2.35	3.1	2.35	14.6	1.48	2.8							
殻運搬処理			無 筋 構造物 = m ³ 5.5		アスファルト殻 = m ³ 7.5		ガレキ類 = m ³ 1.9										
			無 筋 構造物 = t 12.9		アスファルト殻 = t 17.7		ガレキ類 = t 2.8		鋼材殻= t 8.0		m3 5.0						

構造物撤去工数量計算書

バスターミナル

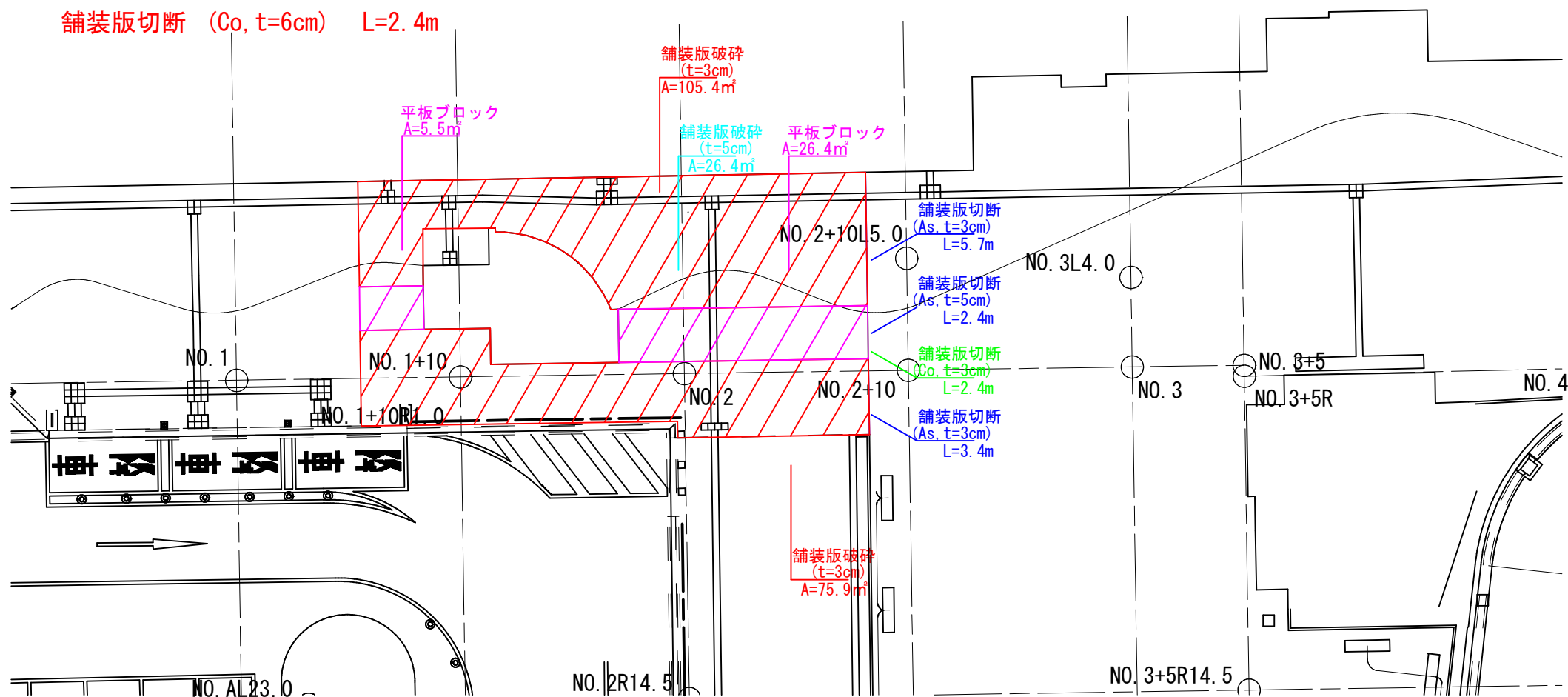
構造物取壊し工

体積 (m³) = 延長 (m) * 断面積 (m²)

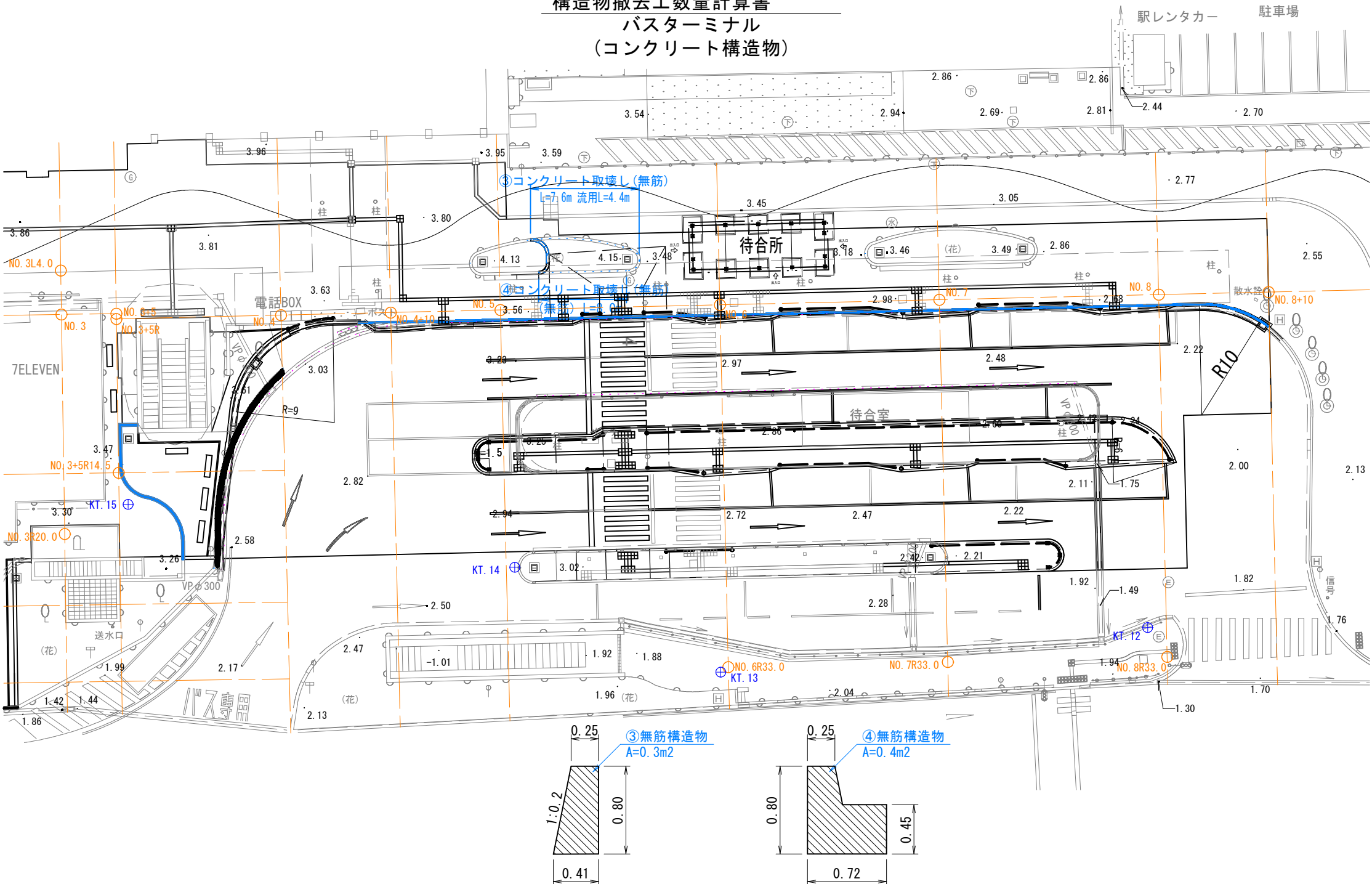
[illegible]

構造物撤去工数量計算書

平板ブロック撤去	A=31.9㎡
舗装版破碎 (t=3cm)	A=181.3㎡
舗装版破碎 (t=5cm)	A=26.4㎡
舗装版切断 (As, t=3cm)	L=9.1m
舗装版切断 (As, t=5cm)	L=2.4m
舗装版切断 (Co, t=6cm)	L=2.4m

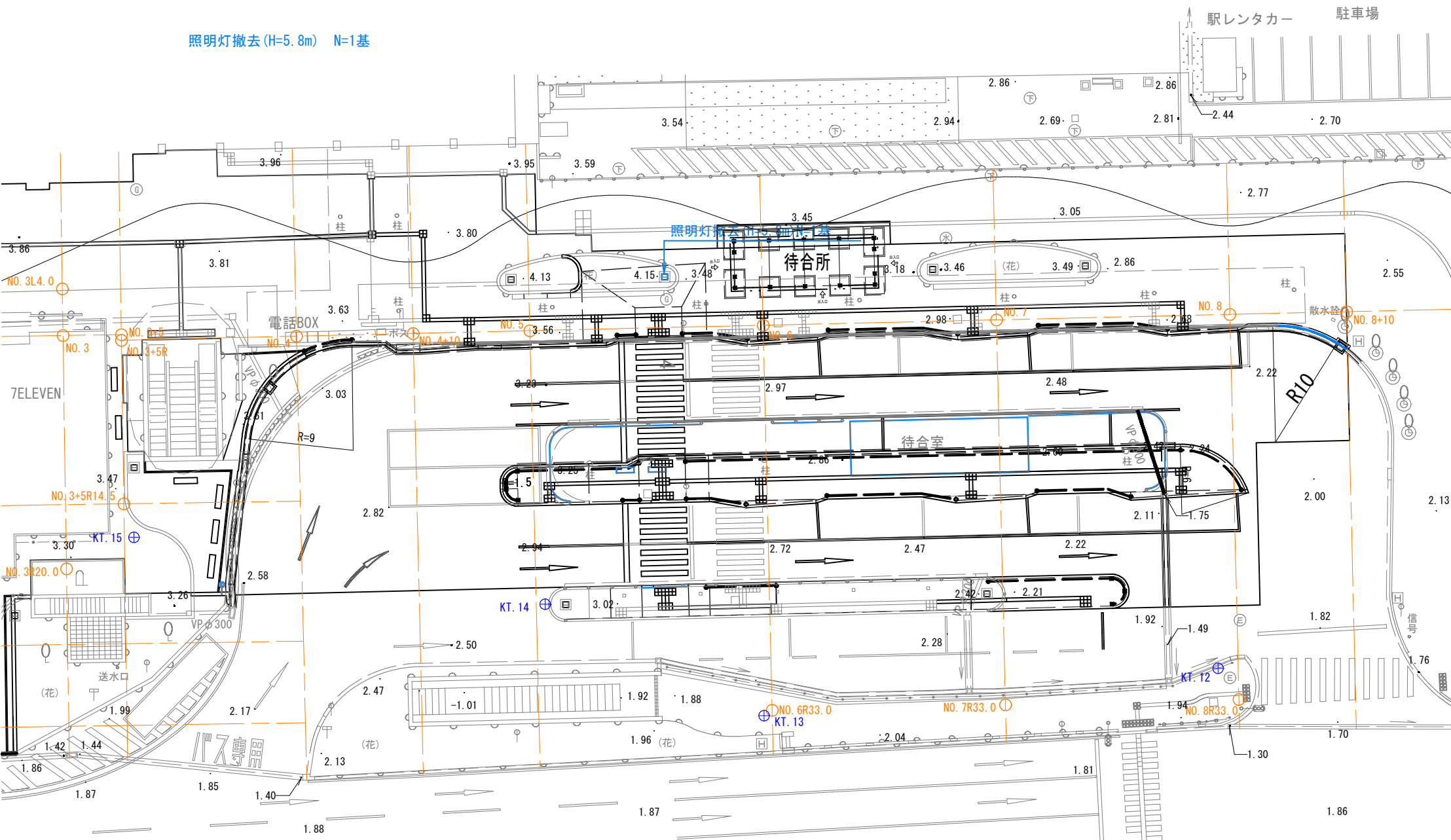


構造物撤去工数量計算書
バスターミナル
(コンクリート構造物)



構造物撤去工数量計算書 S=1:300
バスターミナル
(構造物)

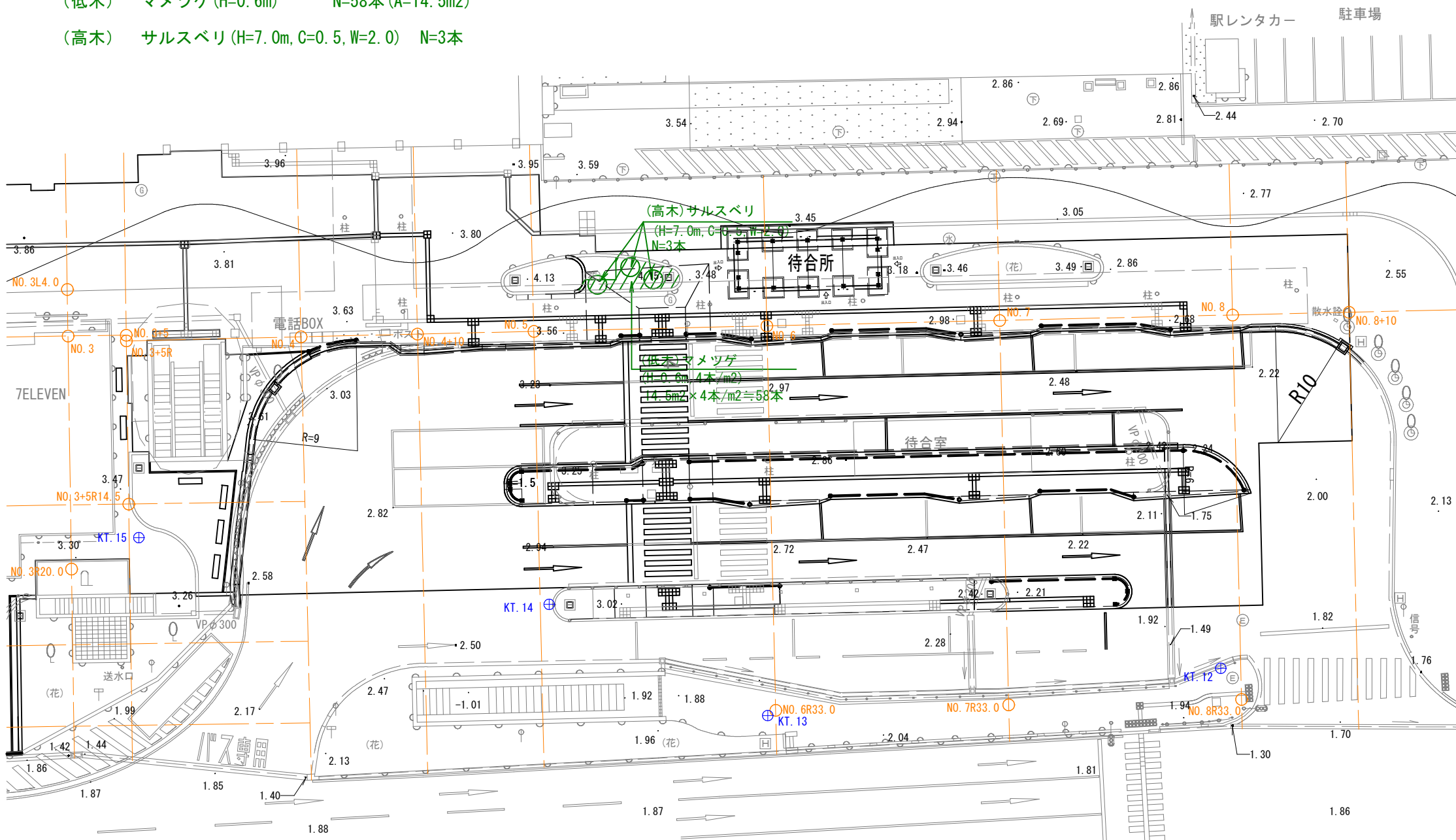
照明灯撤去 (H=5.8m) N=1基



構造物撤去工数量計算書 S=1:300
 バスターミナル

(低木) マメツゲ (H=0.6m) N=58本 (A=14.5m²)

(高木) サルスベリ (H=7.0m, C=0.5, W=2.0) N=3本

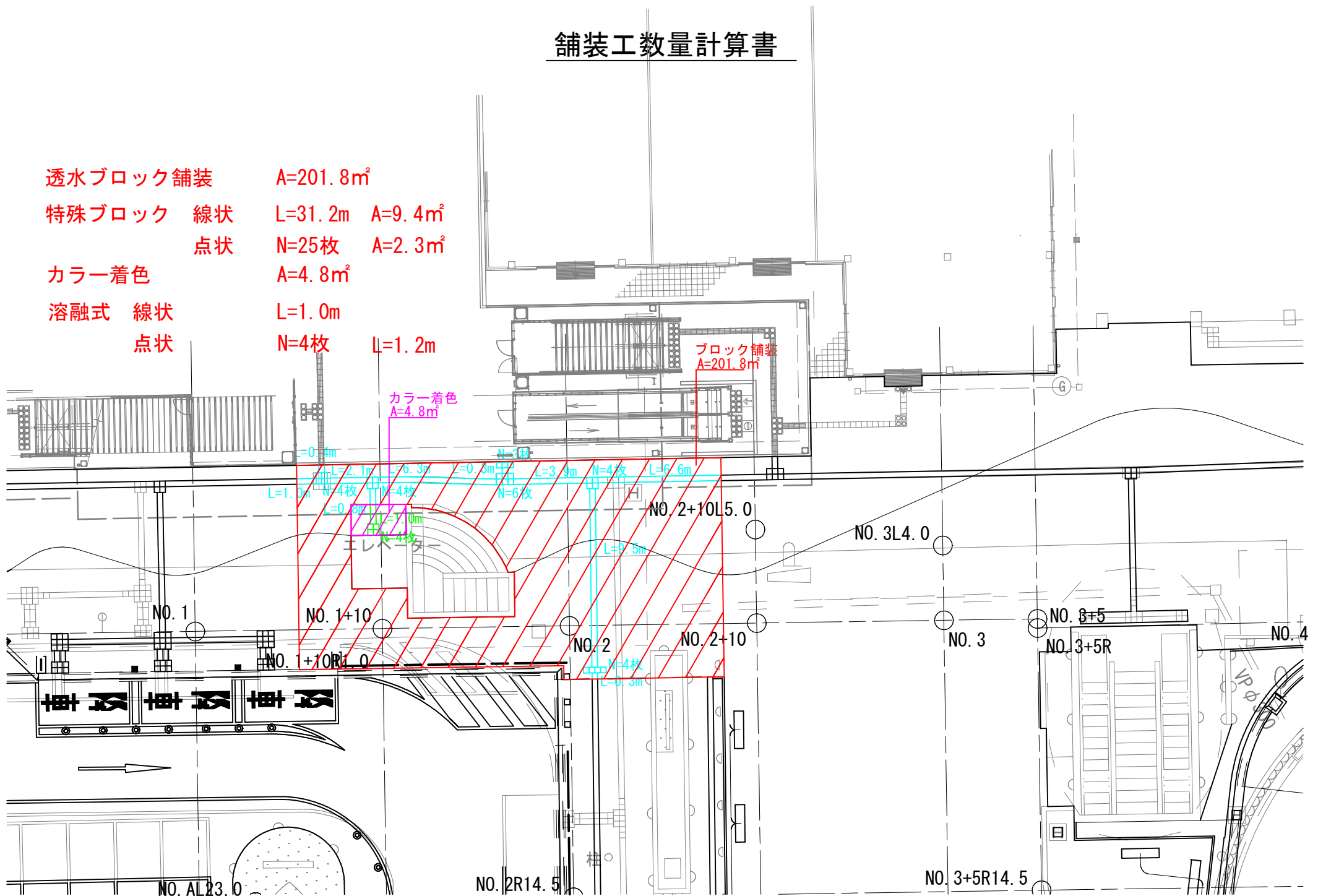


舗装工数量集計表

[illegible]

舗装工数量計算書

透水ブロック舗装		A=201.8㎡
特殊ブロック	線状	L=31.2m A=9.4㎡
	点状	N=25枚 A=2.3㎡
カラー着色		A=4.8㎡
溶融式	線状	L=1.0m
	点状	N=4枚 L=1.2m



仮舗装工図

仮舗装 $t=3\text{ cm}$ $A=25.2\text{ m}^2$

$A = 25.2 \text{ m}^2$

